

・カメ父さん選・ブログより

Kくん

2012.02.19 のブログより

小学校に入学しました。お母さんの手紙

冊子の Kくん

H18年4月(2才10カ月)よりカウンセリング開始・

H22年5月

・・・思い起こせば、Kの発達障害がはっきりした時から、
”発達障害”って何！？から始まり
何をどう調べてよいかも分からずにいた
4年前を昨日の事のように覚えています。

それまで、インターネットなどした事はありませんでした。

でも、今、わが子に何が起きているのかを知るために、
無我夢中でインターネットを覚えました。

画面上に出てくる文字は、絶望的なものばかり、

「脳の病気なので、治ることは無い」とか

「問題行動は若干良くなるが、病気そのものは治らない」

また、発達障害児をかかえた家族の会や、親の心理カウンセラーや、発達障害児への支援機関などは、
治らないから、が前提でのものばかりでした。

・・・その時の私は、治らないという情報は、

今の私には必要なし！と思い、どれも受け入れる事ができず

“発達障害は良くなる！”と信じ、インターネットを毎晩夜中まで、ずっと徘徊し続けたのです。

その中に「早期発見、早期治療で発達障害は良くなる」

との浅野先生のホームページにたどりついたのです。

すぐに浅野先生の出された「問題行動と子どもの脳」を購入、何度も何度も読みました。

そして、この先生なら私の子どもが治るかも！と思い、直接、電話を入れました。

浅野先生から、本当にたくさんの事を教えて頂きました。

キカイ音・脳の栄養・行動分析・親としての接し方や子どもの受け入れなど、たくさんあります。

本も「わが子よ声を聞かせて」「自閉症を克服する」

「ヘレンケラーは、どう教育されたか」

先生の本はもちろんの事、教えて頂いた本も、すぐに取り寄せ、むさぼるようにして

夜も寝ないで本当に良く読みました。

Kのことばが良く出るようになるまで、親子で泣きながら、

心で必死に祈り、一緒の時間を過ごしました。

何もせず後悔するより、親として、今できる事は無いかと、常に模索する中、浅野先生に、本当に助けて頂きました。

今年、小学校に入学し、元気に普通学級に通っています。

あの時に、浅野先生に出会えてなければ、今のKの姿は無いと、確信します。

小学校でも、本当に素直で、優しい子だとほめて頂きます。まだ、若干、違和感を感じるところが時々ありますが、攻撃性などは無く、家庭の中においては困ることはありません。

.....

ちまたには、子育て支援や、療育機関、又、発達障害の専門！と言われる先生がいらっしゃいますが、浅野先生が教えてくださるような事は、一切教えてくれません。

「様子を見ましょう」このことばで、私は半年間を本当に無駄にしまいました・・・

2022・6・22、ブログより

お父さんの疑問・(子どもの年齢・1才8か月開始、発語はない かなり激しい多動あり)

総合療法を 良く読み込んで見ると感心しました!!!

★お父さん

①総合療法を受けた子たちで、完璧に良くなったという子はどのくらいの割合でおられるでしょうか？
体験談を読んでいると、ほとんどの子たちが格段に良くなり、性格の範囲内に届いています。ですが、少しのアスペルガーっぽさが残ることもあるようです。

*****浅野・・・

「0 から 4 才の脳を元気にする療育」の本に掲載されてる子は、私がカウンセリングした全部の子です。良い子だけ載せてあるのではありません。問い合わせのある段階で、機械音が該当した子どもです。しばらく機械音を除いてから、効果を見てカウンセリングの申し込みがある場合もあります。やはり栄養素を与えると成長の速度は上がります。

機械音が該当した早期療育ならば、どの子ども、とても効果があります!!!

目標は、普通に小学校へ入学して、普通に生きていく事です。

★お父さん

先生のブログでも、95%大丈夫と思っていた子が小学生になり、お母さんからアスペルガーっぽさを報告された事例もありました。

先生はアスペルガーっぽさや ADHD をすっかり無くするのは難しいと書かれておられます。やはり完璧に治すというのは難しいのでしょうか？

*****浅野・・・

知的に普通になっても、わずかに多動が残る、人と関わる事があまり好きでない、あるいは少し衝動的

なところがある、などおっしゃることがあります。でもそれは性格の範囲内として容認できる範囲です。それは、今後の成長と経験で改善する可能性はあります。幼児期の事を知らない人が見たら、気がつかない程度です。それは“治った”と言えると思います。

★お父さん

自閉症が治るときは、重度自閉症からアスペルガー、ADHD、学習障害の順をおって治る、と書いておられるのを読みました。ADHDの不注意や学習障害などは小学校に上がってからでないといけないと聞きますので、どのように学習障害まで治ったかと確信すればよいのでしょうか？

*****浅野・・・

自閉スペクトラム障害は連続体です。

重度自閉症の子は、すべての症状を持っているでしょう。言葉の発達に従って、軽度自閉症・知的障害・アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、となります。今はひっくり返して、ASDとしました・言葉の発達が遅れると、知的障害児になります。

学習障害の子は、発達障害の症状があります。

学習障害は、脳が元気になる過程で、全体的に脳が成長していく過程で治っていくと思っています。だから、総合療法でよくなった子が、学習障害でした。と聞いたことはありません。

★お父さん

2、3年総合療法に取り組んで、すっかり良くなったと思っても、小学生になるまでは治ったと思わないほうがいいですか？

*****浅野・・・

そう思った方が安全だと思います。

医者が治らないと言っている障害と、戦っているのですから、もう少しの多動や衝動性は、なかなか判断がつきにくいと思います。

2012.02.22 ブログより

[脳には代償機能・可塑性があるから](#)

雨の日には本を広げて（リンクにあります）、のブログで紹介された2冊の本、

「ことばでつまずく子どもたち」と

「よみがえる脳」は

すごい事が書かれていると思いました。

ブログの文章から、選んだ言葉

- 1 「先天性などの難しい障害を持った子どもでも、
[環境](#)からの働きかけ、訓練、教育指導などの効果が期待できる。
- 2 定型発達というのは、先天性の障害を持たずに
生まれてきただけでは達成できないのだという事

周囲の人々が子どもを世話していくなかで、子どもは環境から学び取り、脳を発達させていくのであり、そんな条件が満たされなければ、発達をつまづきが発生してしまいます。・・・略

これは、遺伝素因を持った乳幼児でも、環境を整えれば、かなりの改善が見込めるのではないか？
そういう可能性があるという期待を、大いにもたせてくれます。・・・嬉しいですね！！

その環境要因は何か???を考えた時、
小児科学会や小児科医会が提言をしています。

- *2才以下の子どもには、テレビ・ビデオは、長時間見せない
- *テレビはつけっぱなしにしない
- *見終わったら消す。ビデオは、続けて繰り返し見ない
- ・・・略・・・

とりあえず、言葉の発達が心配な幼児には
雑音になる機械音に注意しましょう。

静かな環境の中で、コミュニケーションを伴う言葉をかけましょう。

子どもの見ているもの、している事を話しかけます。

それで、脳の聴覚野、視覚や、運動野 などが神経でつながり、
こどもから出てくる言葉が、コミュニケーションを伴います。

「自閉症感覚」の著者、テンプル・グランディン著は書いています。
何もしないことは一番いけません！と子どもを救うという、強い気持ちが大切です、と書いています。
是非1度読んでください。

2016.03.30 ブログより

自閉症・構音障がいが多いのは？

人はどのようにして話すことを学習するのでしょうか？

それを学ぶために、鳥の発声の研究をされました。

和多 和宏・北海道大学大学院・生物化学分野の研究者です。

その結果は、

大人が話す内容を幼児が聞き・・・その声を真似しようと赤ちゃんが声を出し・・・その声を、
自分で聴いて、修正を加えていく・・・その、声のフィードバックによって話せるようになっていく

鳥の場合、声のフィードバックを、絶つと、鳥は発声できない、と実験で分かっています。

これが人にも当てはまると、書いています。

人でありながら、話せない自閉症の人は、どうして話せないのでしょうか？

声のフィードバックがどこで寸断されているのでしょうか？

雑音の中で、自分の出した声を、はっきりと聞き取れなかったとしたら、話せないと考えます。

カウンセリングを始めると、話し始めても、しっかりと話せない、構音障がいの子は、かなり多いのです。

しかし、早期ならば次第に改善はしていきます。

赤ちゃんには、雑音の中から、人の声を聞き取る能力がありません。

大人にはその能力がありますが、自閉症の大人の中には、騒々しい中で人の声を聴きとる事が苦手である人があることが分かっています。

さあ！言葉の発達が心配なお母さん、機械音を無くして乳幼児を育ててください。

療育の先生方、お母さんに伝えてください。かなりの子ども達は急激に改善し始めるでしょう。

なにもかも、遺伝子が原因です、と言っているのは、自閉症の研究に進歩はありません。

和多和宏准教授は、人がどのようにして話すか？を知るために、鳥はどのようにして発声を学ぶのか？を研究されました。この研究が自閉症の人々に役に立つことを、願っています。

編集 あい子ども相談 浅野幸恵

2023・5・17
